

## 5. 出カイメージの表示(「D.M.D.」、 「D.M.D. (for ODP)」 共通)

「D.M.D.」と「D.M.D. (for ODP)」では表記など細かな差異はありますが、操作に違いはありません(図は「D.M.D.」のもので)。

### 5- 1. Perfect editionの表示方法

①インストールしたフォルダ“DMD”の中(「D.M.D. (for ODP)」の場合“DMD(for ODP)”というフォルダ。)からアプリケーションプログラム“microfossil.exe”(「D.M.D. (for ODP)」の場合“microfossil(forODP).exe”)を実行します(図 5- 1- 1)。

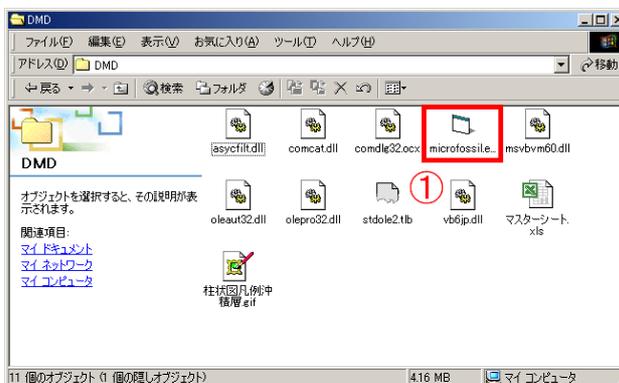


図 5- 1- 1 プログラムの実行

②「パスワード入力画面」(図 5- 1- 2)が表示されます。あらかじめ登録されたパスワードを入力してから“OK”ボタンを押すと「メニュー画面」(図 5- 1- 3)が表示されます。



図 5- 1- 2 パスワードの入力

③“開く”ボタンを押すと「ファイル選択画面」(図 5- 1- 4)が表示されます。

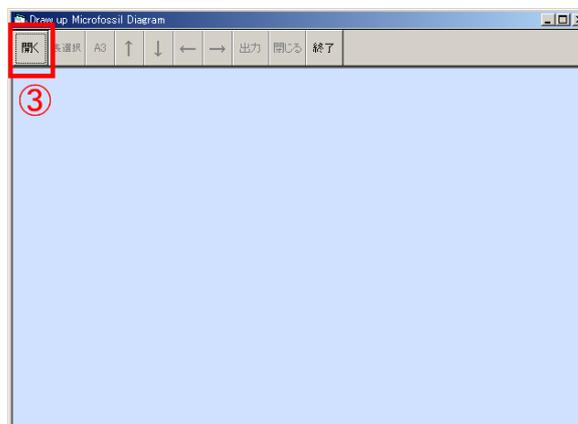


図 5- 1- 3 メニュー画面

④表示する柱状図のファイルを選んで開きます。



図 5- 1- 4 ファイル選択画面

⑤「ダイアグラム選択画面」(図 5- 1- 5)が表示されます。表示するダイアグラムを選択し“OK”ボタンを押します。

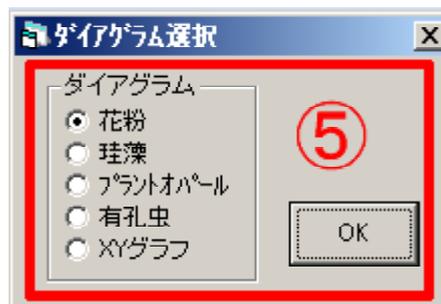


図 5- 1- 5 ダイアグラム選択画面

## 5- 2. Limited editionの表示方法

①インストールしたフォルダ“DMD”の中（「D.M.D. (for ODP)」の場合“DMD (for ODP)”というフォルダ。）からアプリケーションプログラム“microfossil.exe”（「D.M.D. (for ODP)」の場合“microfossilforODP.exe”）を実行します（図 5- 2- 1）。

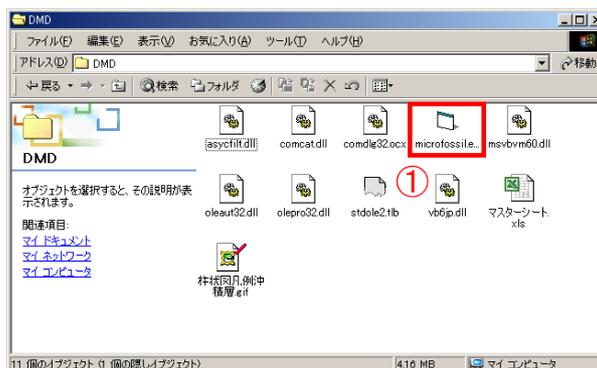


図 5- 2- 1 プログラムの実行

②「パスワード入力画面」（図 5- 2- 2）が表示されます。あらかじめ登録されたパスワードを入力してから“OK”ボタンを押すと「メニュー画面」（図 5- 2- 3）が表示されます。



図 5- 2- 2 パスワードの入力

③“開く”ボタンを押すと「ファイル選択画面」（図 5- 2- 4）が表示されます。

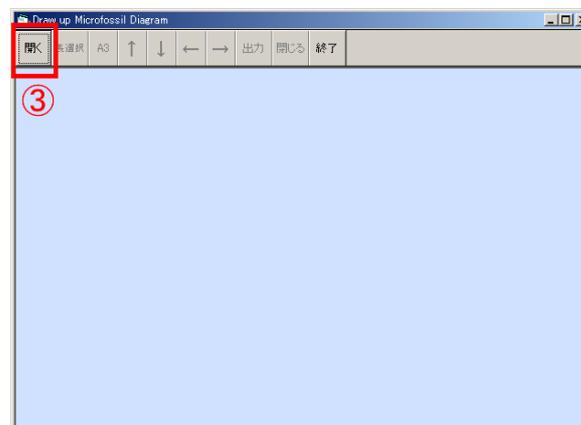


図 5- 2- 3 メニュー画面

④表示する柱状図のファイルを選んで開きます。

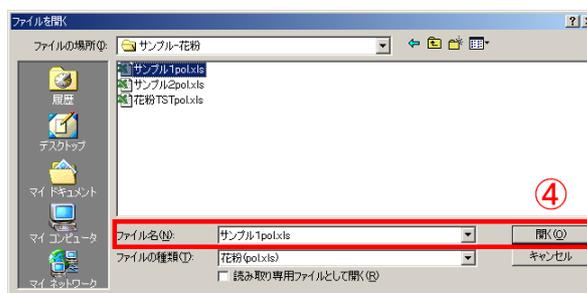


図 5- 2- 4 ファイル選択画面

### 5- 3. カウント数合計ゼロの試料の取扱い

カウント数合計ゼロの試料が存在するという前提で、対応しています。

図 5- 3 のようなポップアップウィンドウが出た上で、「試料No.の表示」、「試料No.の非表示」、「読み込みを中止」が選択できます。

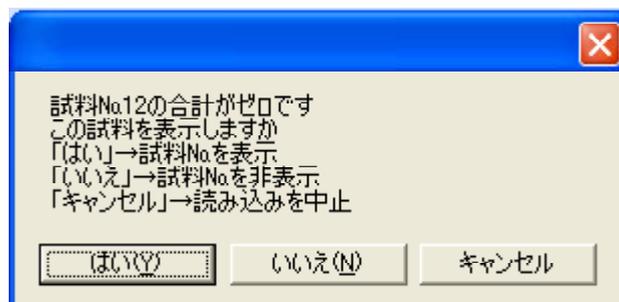


図 5- 3 試料No.表示選択

Ver1.2以前では、カウント数合計ゼロの試料は存在しないという前提で、対応していました。このため、カウント数合計ゼロの試料があった場合、入力ミスとして扱っていました(図 5- 4のようなポップアップウィンドウが出た上で、読み込みを中止していました。)

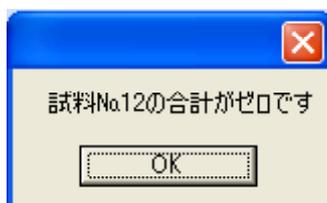


図 5- 4 エラーメッセージ(Ver1.2)

## 6. 出カイメージの編集(「D.M.D.」、 「D.M.D. (for ODP)」 共通)

### 6- 1. 固定コマンドとポップアップコマンド

ファイルを開くと、図 6- 1 の様なダイアグラムイメージが、画面上に描かれます。

図 6- 1 画面左上に固定の「メニューコマンド」(①) が引き続き見えています。この他の編集機能(設定フォーム②~⑫) はポップアップコマンドとして、指定場所にポインタ(矢印) を移し右クリックすることで現れます(詳細を 6- 2. で説明します。)

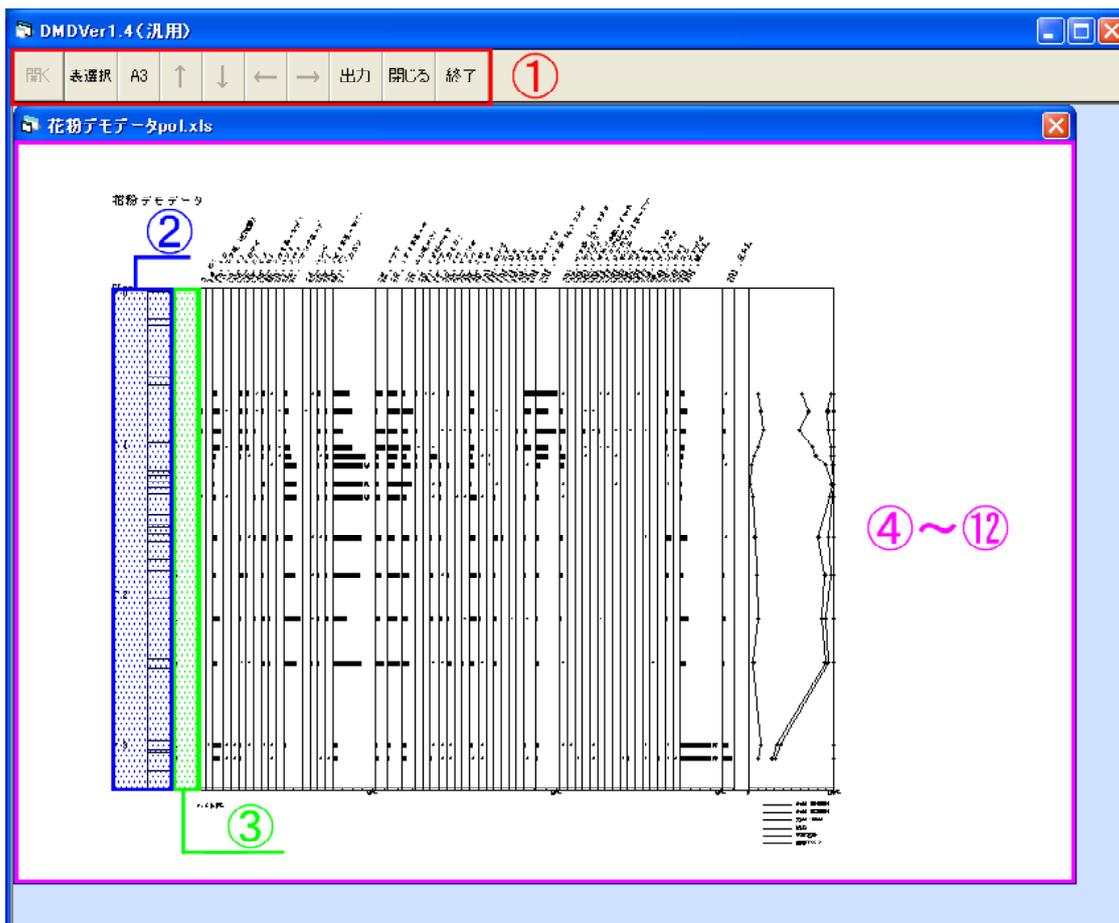


図 6- 1 イメージ編集 (設定フォーム) のクリック位置

表 6- 1 に、各ダイアグラムソフトと編集機能（設定フォーム）の関係を示します。  
 以下では、出カイメージ編集のための操作を説明します。

表 6- 1 出カイメージ編集（設定フォーム）一覧

	花粉			珪藻			プラント		有孔虫		XY
	ダイ	総合	累積	ダイ	総合	累積	ダイ	累積	ダイ	総合	ダイ
メニューコマンド	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
スケール設定	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
試料番号設定	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③
名称設定	④	④	④	④		④	④	④	④	④	
ダイアグラム設定	⑤	⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	
基数設定	⑥	⑥	⑥								
累積ダイアグラム設定			⑦			⑦		⑦			
総合ダイアグラム設定		⑧			⑨					⑩	
レンジ設定									⑪	⑪	
目盛設定											⑫

\* プラント：プラント・オパール、ダイ：ダイアグラム、総合：総合ダイアグラム、累積：累積ダイアグラム



表 6-2 表選択フォーム  
微化石ダイアグラムとダイアグラム選択ボタン

	花粉	珪藻	プラント・オパール	有孔虫
ダイアグラム	◎	◎	◎	◎
総合ダイアグラム	◎	◎		◎
累積ダイアグラム	◎	◎	◎	
組成表 (プリンタ出力)	◎	◎	◎	◎

◎は選択可能なダイアグラムあるいは表

「A3/A4」：出力する用紙サイズを変更します。XYグラフでは使用できません。用紙サイズはA3のみです。

「↑」「↓」「←」「→」：出力が複数ページにわたる場合、矢印の方向のページを画面に表示します。

「出力」：プリンタあるいはファイルへの出力をおこないます（詳細は7章をご覧ください。）。

「閉じる」：ファイルを閉じます。

「終了」：プログラムを終了します。

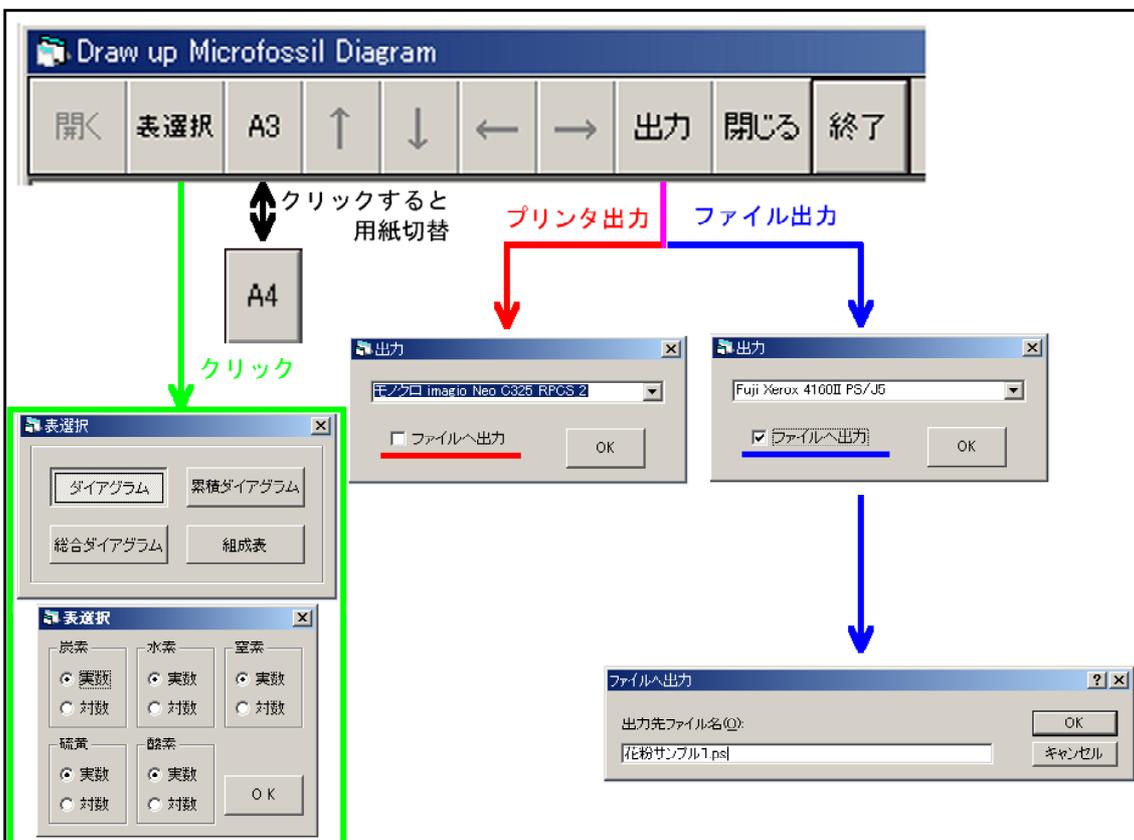


図 6-3 メニューコマンドの機能 (設定フォーム)

## ②スケール設定（全種類共通）

### 出力サイズ

**描画比率**：実際の深さ（長さ）に対する描画時の深さ（長さ）を%で設定します。

**上限深度**：出力する上限深度を指定します。

**下限深度**：出力する下限深度を指定します。

### 目盛設定

**数値目盛**：指定した間隔で目盛と数を描きます。

**補助目盛**：補助目盛は、指定した間隔で目盛を描きます。

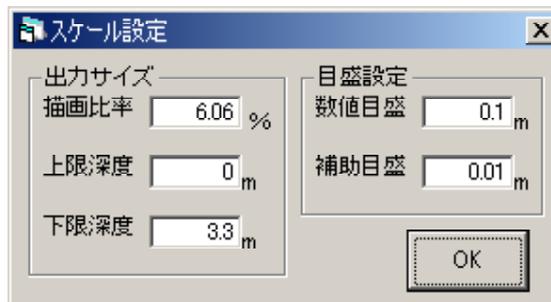


図 6-4 スケール設定

## ③試料番号設定

**試料番号表示**：試料番号の表示間隔を設定します。

**ポイント**：「試料番号表示」を「全て表示」にした場合に「ポイント：●」を表示するか選択します（「試料番号表示」を「全て表示」にしていないうち、ポイントは必ず「表示する」になり選択することはできません。）。

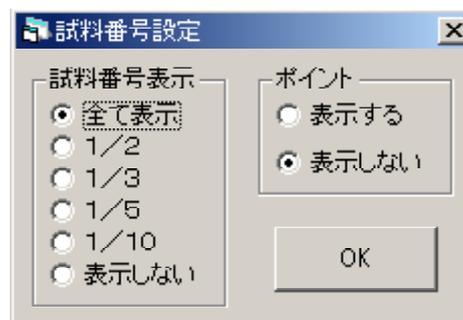


図 6-5 試料番号設定

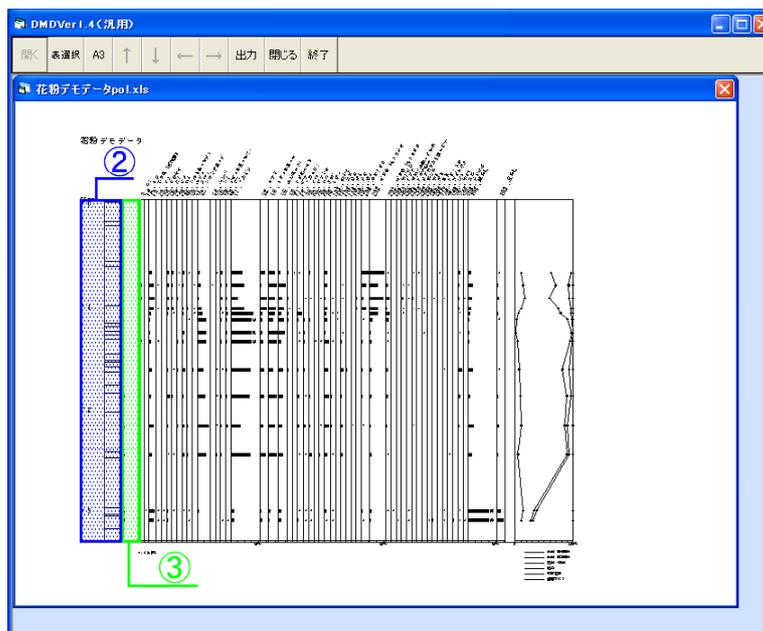


図 6-6 ②：スケール設定と③：試料番号設定のクリック位置

#### ④名称設定

コードNo.を表示しない：コードNo.が消え、  
種類名称だけが表示されます。

名称を全頁に表示：複数枚に描画される際  
に全ページに種類名称を表示します。

和名学名切替（花粉ダイアグラムのみ）：  
種類名称を和名で表示するか学名で表示  
するかを選択します（どちらか一方のみ  
使用できます。）。



図 6- 7 名称設定

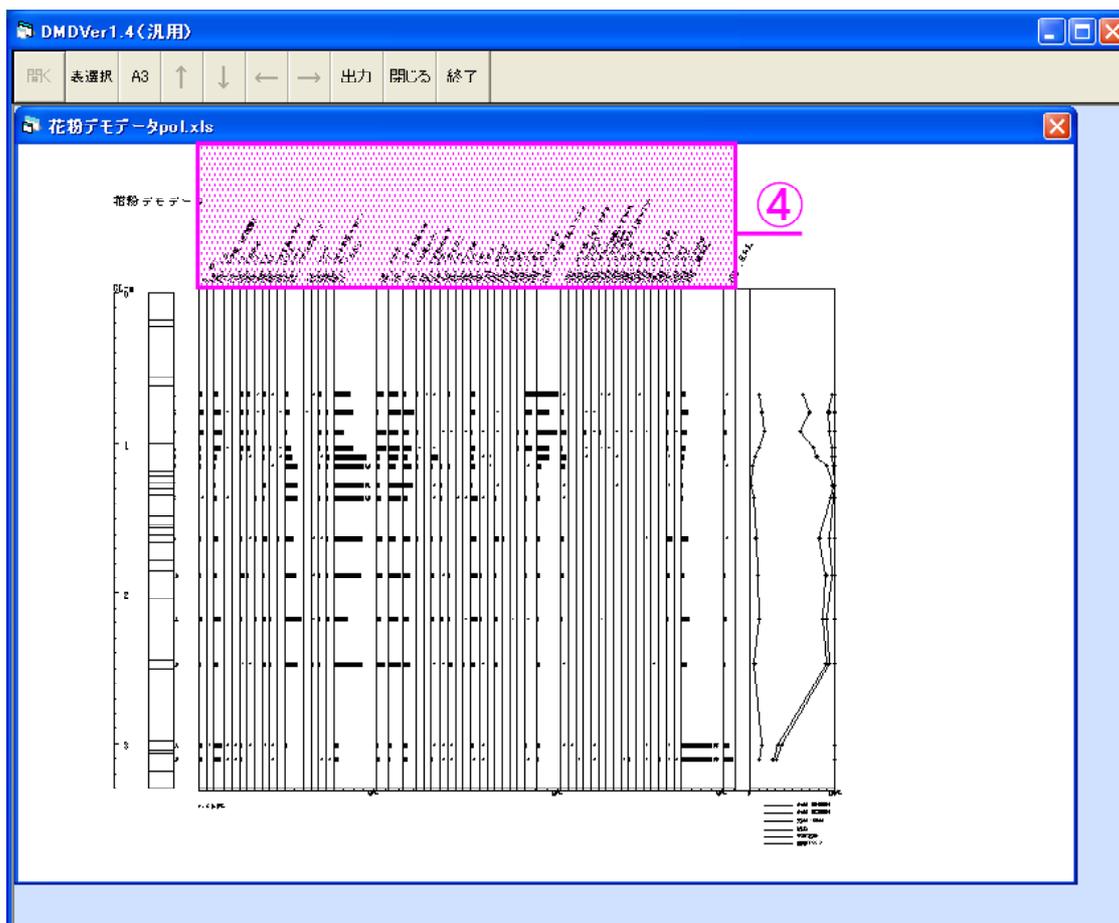


図 6- 8 ④：名称設定のクリック位置

## ⑤ダイアグラム設定

**コード非表示**：チェックされた種類はダイアグラムに表示されません（自動計算の対象には含まれていますので、百分率が変わることはありません。）。

**“\*”印表示**：入力数量合計が「表示下限値」未満の試料を「\*」印で表示します。また、下の欄にある数は試料番号です。チェックされた試料を「\*」印で表示します。

**“+”印表示**：選択した数値未満のグラフ帯を「+」印で表示します。また、「”●”印表示」をチェックすると、「+」を「●」の表示に切り替えます（「+」の大きさは固定されていますが、「●」の大きさは、グラフ帯の幅に比例して変わります。）。

**グラフ帯（花粉、珪藻、プラント・オパールのみ）**：幅設定で帯の幅を変えることが可能です（数値表示を選んだ場合は幅は1.6mmに固定されます。）

**プラントオパール表示（プラント・オパールダイアグラムのみ）**：プラント・オパールダイアグラムの表示方法を選択します。数量を選択した場合は、入力した数をそのまま帯で表示します。「”+”表示をしない」をチェックすると、「”+”表示」が無効になります。ダイアグラム下部に表示する「凡例」を、必ず選択してください。百分率を選択すると、分類コード「1」の合計を基数として各種類の百分率を計算し、グラフ帯で表示します。

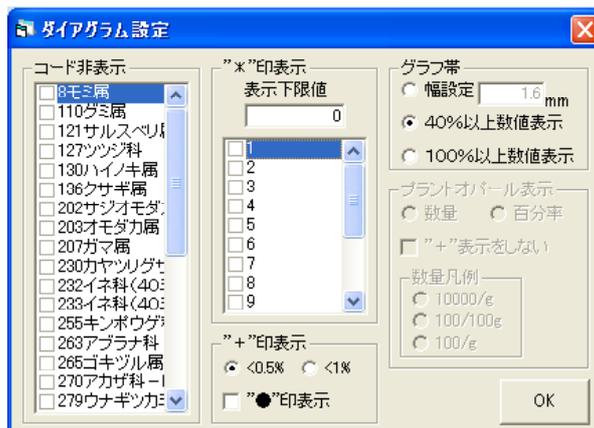


図 6- 9 ダイアグラム設定

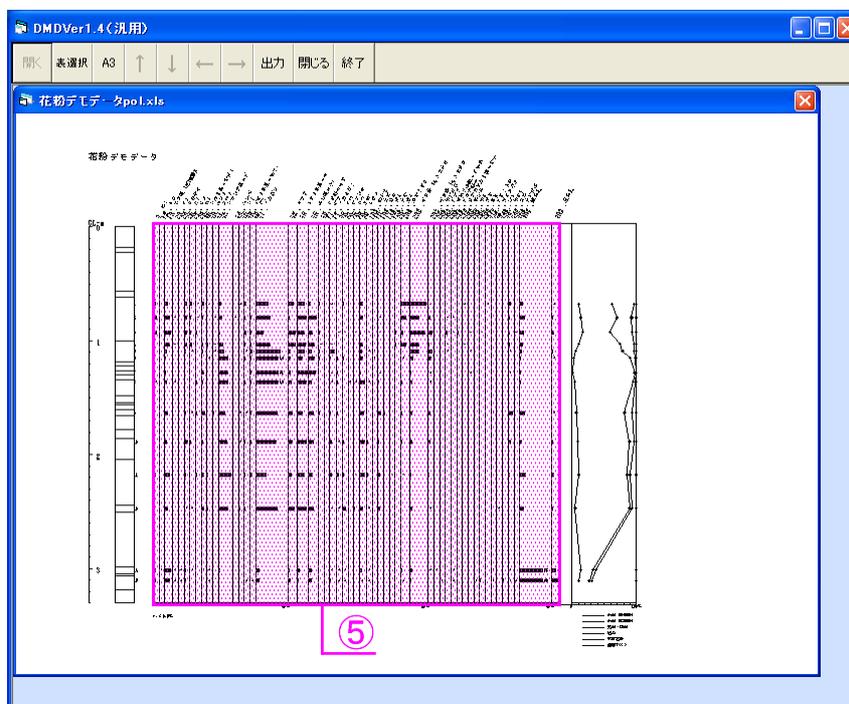


図 6- 10 ⑤：ダイアグラム設定のクリック位置

## ⑥基数設定（花粉）

花粉ダイアグラムのみの機能です。

チェックした分類コードの合計を基数として百分率を計算します。

基数がゼロになる試料にも、対応しています。

基数がゼロの場合、図 6-12 のようなポップアップウィンドウが出た上で、「\*で表示」、「元に戻る：基数の再設定」が選択できます。

Ver1.2以前では、基数がゼロの試料は存在しないという前提でいました。このため、カウント数合計ゼロの試料があった場合、設定ミスとして扱っていました（図 6-11のポップアップウィンドウに、自動で戻っていました。）。

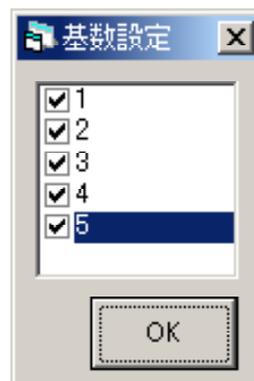


図 6-11 基数設定

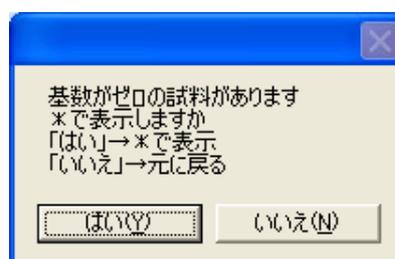


図 6-12 \*印表示選択

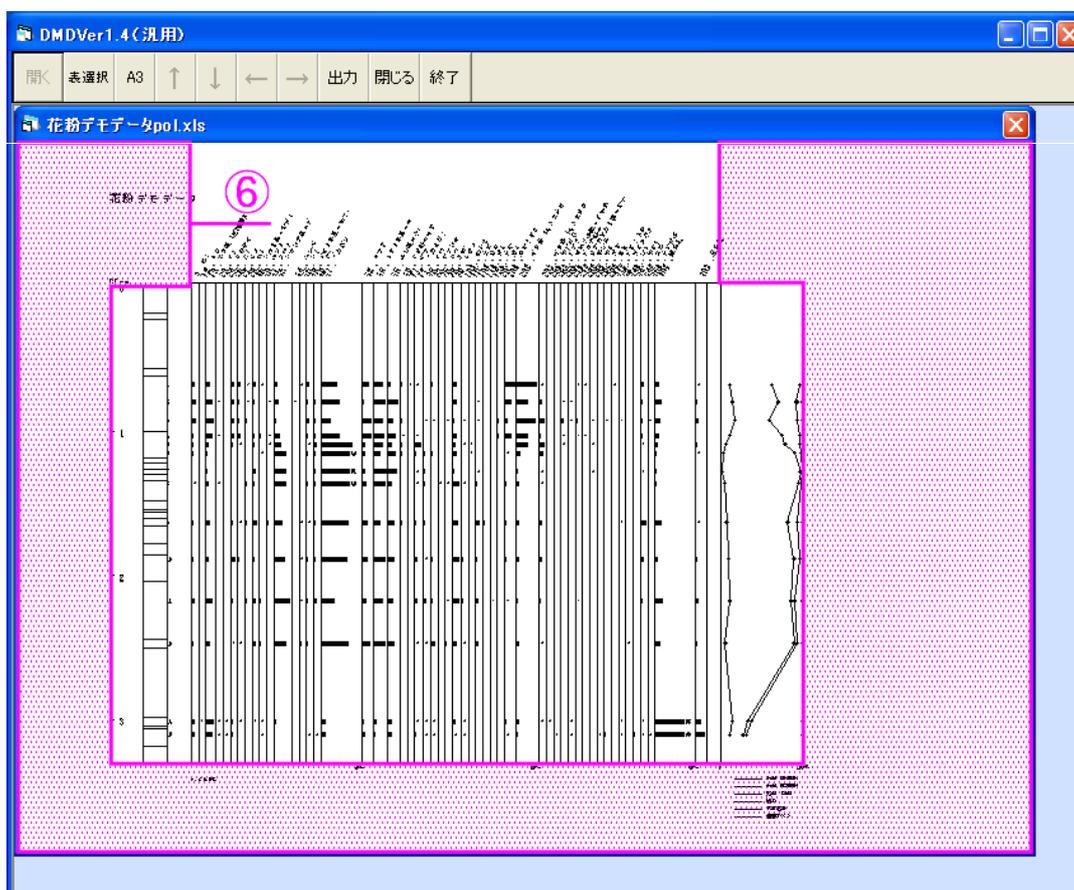


図 6-13 ⑥：基数設定のクリック位置

### ⑦累積ダイアグラム設定

「メニューコマンド」→「累積ダイアグラム」選択時に黄緑枠線内をクリックすると出現します。

**累積コード指定**：累積開始種類と累積終了種類をチェックするとその間を累積表示します（たとえば、図 6-14の場合には、312～350の6種が累積表示となります。）。また、複数の累積ダイアグラムを表示させることもできます。

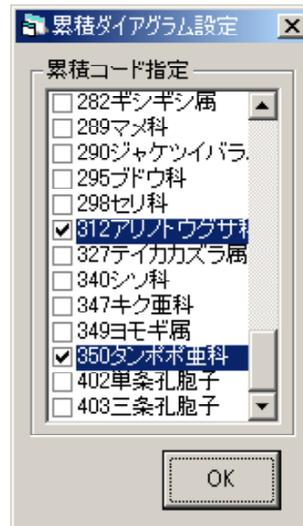


図 6-14 累積ダイアグラム設定

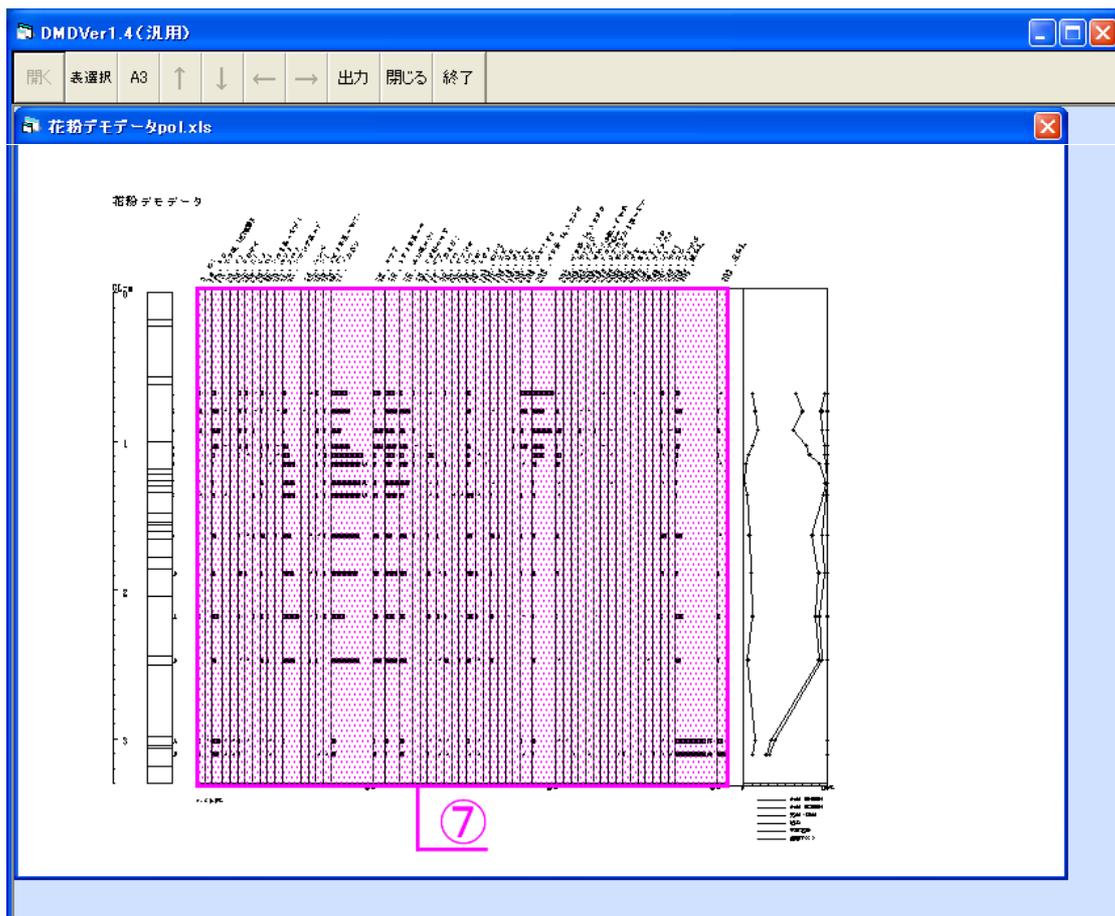


図 6- 15 ⑦：累積ダイアグラム設定のクリック位置

### ⑧総合ダイアグラム設定（花粉）

花粉ダイアグラム（総合ダイアグラム）  
のみの機能です

**非表示試料**：チェックされた試料は総合ダイアグラムに表示されません。

**分類コード**：表示する花粉分類コードの範囲を選択します。



図 6-16 総合ダイアグラム設定（花粉）

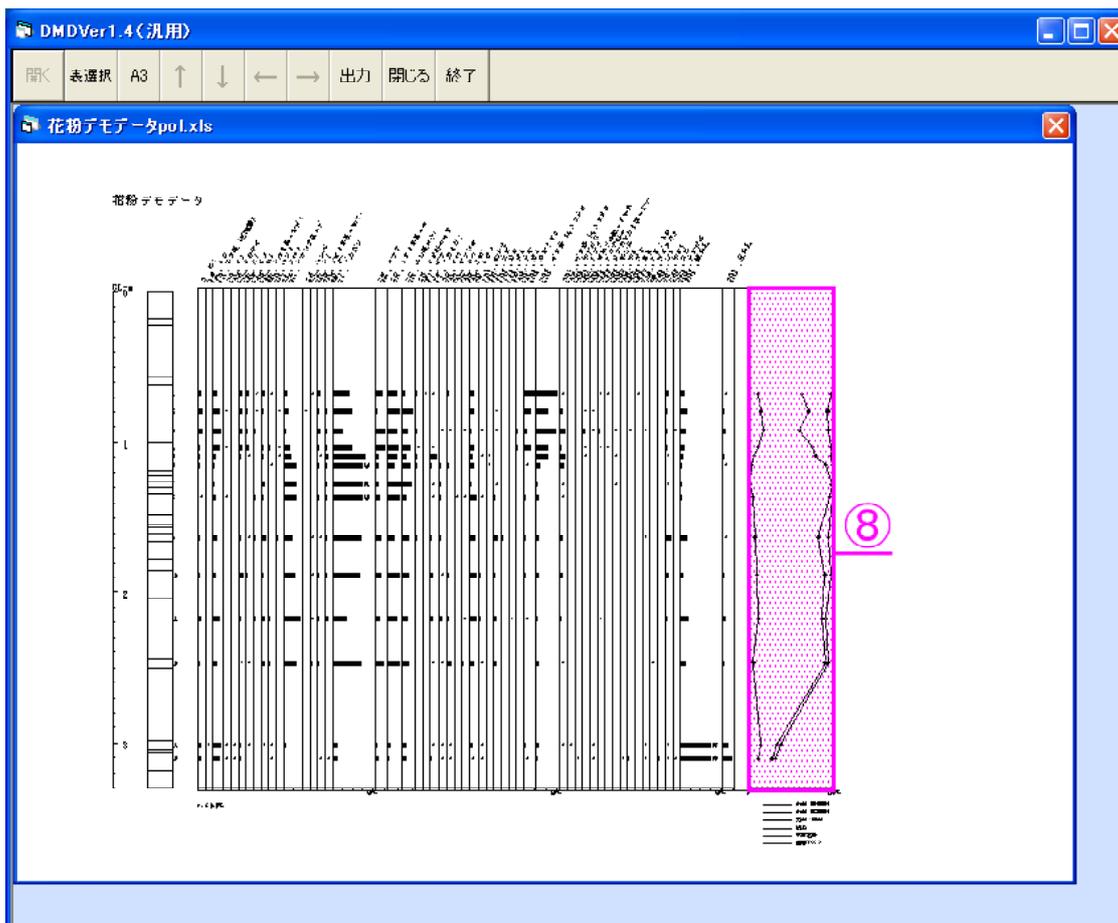


図 6-17 ⑧：総合ダイアグラム設定（花粉）のクリック位置

### ⑨総合ダイアグラム設定（珪藻）

珪藻ダイアグラム（総合ダイアグラム）のみの機能です

**非表示試料：**チェックされた試料は総合ダイアグラムに表示されません。左のリストは左端のダイアグラムのみ、右のリストはその他4つのダイアグラムに対応しています。

**分類名を全頁に表示：**チェックすると複数枚に描画される際に全ページに分類名を表示します。



図 6-18 総合ダイアグラム設定（珪藻）

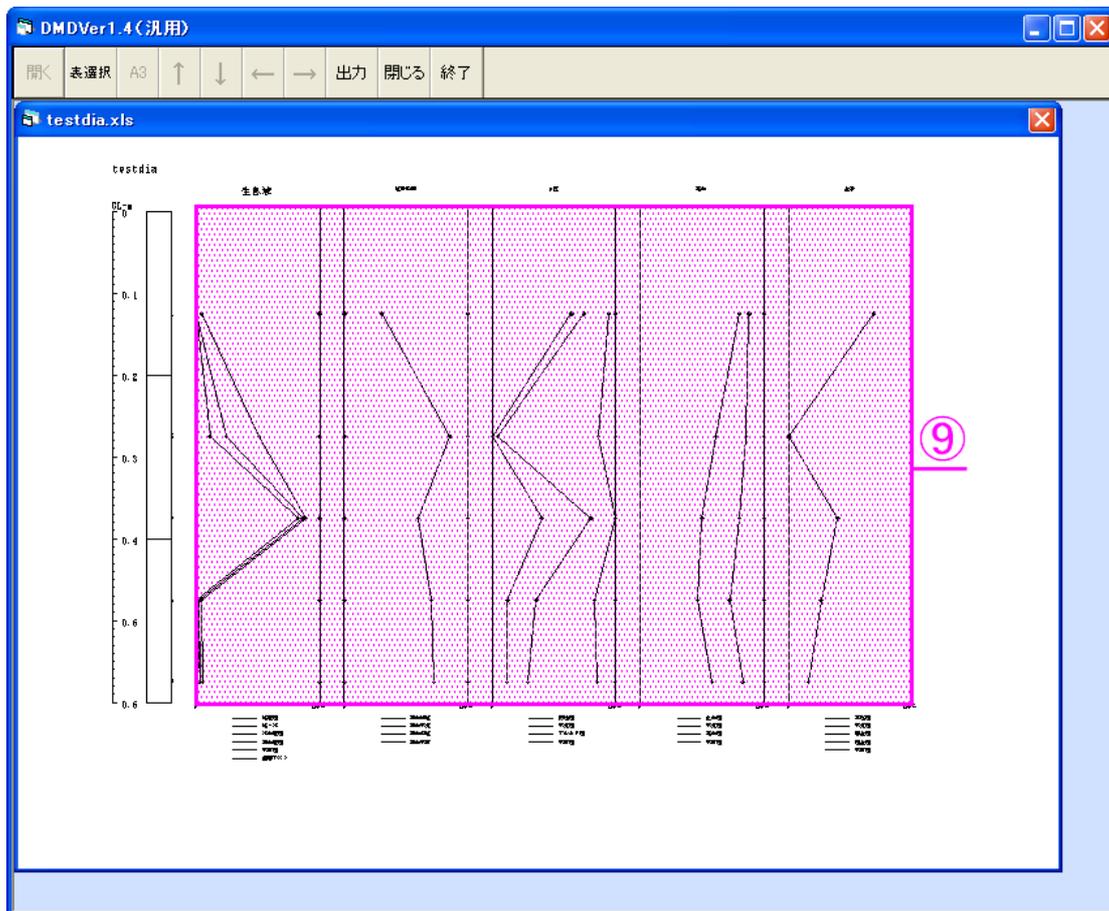


図 6-19 ⑨：総合ダイアグラム設定（珪藻）のクリック位置

### ⑩総合ダイアグラム設定（有孔虫）

有孔虫ダイアグラム（総合ダイアグラム）のみの機能です

**非表示試料**：チェックされた試料は総合ダイアグラムに表示されません。

<参考>非表示試料は分類区分毎に独立しています。

**非表示分類区分**：チェックされた分類区分の総合ダイアグラムは表示されません。

**ダイアグラム**：「表示する」をチェックすると総合ダイアグラムの横にダイアグラムを表示します（「表示位置」は総合ダイアグラムに対するダイアグラムの位置です。）。

**分類名を全頁に表示**：チェックすると複数枚に描画される際に全ページに分類名を表示します。



図 6-20 総合ダイアグラム設定（有孔虫）

### ⑪レンジ設定（有孔虫）

有孔虫ダイアグラムのみの機能です

**段階数**：「●」で占めず段階数を選択します。

**しきい値**：各段階の下限值（%）を入力します。

**凡例位置**：ダイアグラムに対する凡例の位置を選択します。



図 6-21 レンジ設定

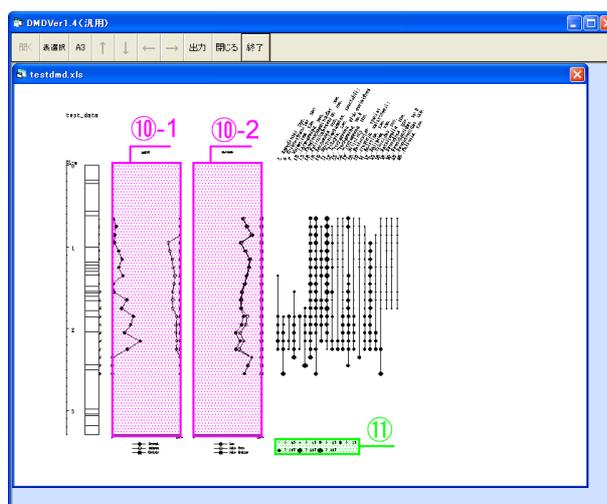


図 6-22 ⑩：総合ダイアグラム設定（有孔虫）、⑪レンジ設定（有孔虫）のクリック位置

### ⑫目盛設定 (XYグラフ)

XYダイアグラムのみの機能です

**最大目盛・最小目盛** : X軸目盛の最大値と最小値を設定します。

**X軸目盛** : X軸の補助線の間隔を設定します。

**Y軸目盛** : Y軸の補助線の間隔を設定します。



図 6-23 目盛設定

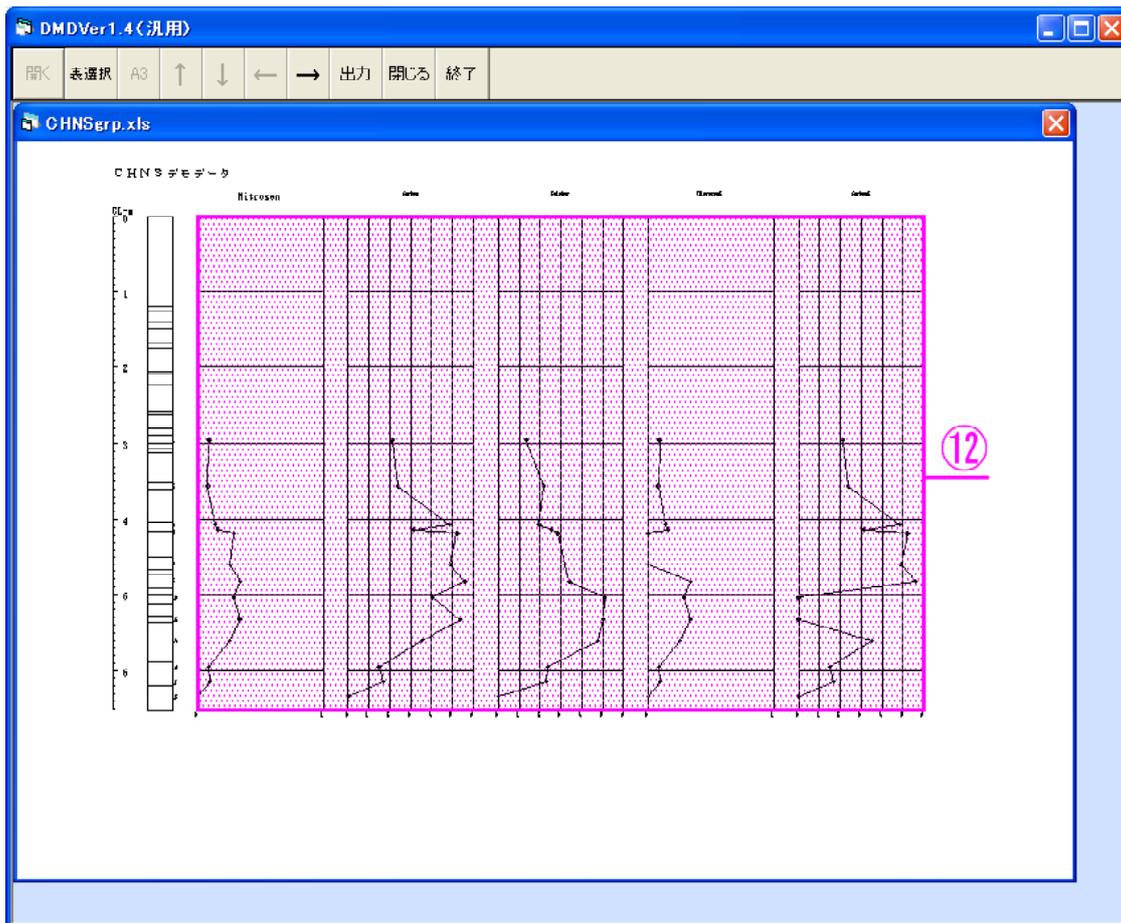


図 6-24 ⑫ : 目盛設定 (XYグラフ) のクリック位置